

川崎市 主催事業

川崎市主催事業は、市の各局区が所管する施策や事業に取り組む中で、市制100周年を契機に、一歩先を目指す+αのチャレンジを行うものとして、プレ事業期間を含めて市内全域で約250の事業を展開しました。より一層の課題解決や新たな価値の創出にチャレンジしたことで生み出した「新たな取組」や「新たなつながり」を今後の取組推進に活かしていきます。



市役所通りイチョウ並木の ライトアップ

建設緑政局

実施日 2024年10月16日[水]～
会場 市役所通り



市制100周年を記念するとともに、緑化フェアや公共空間活用などの取組と連携しながら、市役所通りのイチョウ並木をライトアップすることで、空間を高質化し、都市イメージの向上やシンビックプライドの醸成を図りました。10月16日に、市役所通りの銀柳街・銀座街との交差点から国道15号までの区間でライトアップ

の点灯を開始。夕方暗くなると自動点灯し、秋の紅葉の時期には、黄色いイチョウの葉が暗闇にきれいに浮かび上がりました。ライトアップの電力には、「川崎未来エネルギー株式会社」から供給された、市民の皆様が排出したごみをエネルギーとする川崎産グリーン電力を再生可能エネルギーとして活用しています。



かわさき多摩川マラソン 2024

市民文化局

実施日 2024年11月17日[日]
会場 Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu ほか



「Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu」をメイン会場として、ハーフマラソンやファミリーファンランニングなど多様な種目を実施した「かわさき多摩川マラソン2024」は、市制100周年記念大会として、2人1組で参加し、合計タイムを競うペアランニング部門を新設するとともに、前回の100周年プレ大会で新設した車いす部門や未就学児

部門の参加枠を拡大しました。また、特別ゲストとして元サッカー日本代表中村憲剛氏やパラリンピック水泳金メダリスト成田真由美氏が参加したほか、記念グッズの提供など、歴史的な節目にふさわしく、誰もが楽しめるインクルーシブな大会として開催し、当日は晴天にも恵まれ、約7,000人のランナーが参加しました。



さいわいにぎわいフェス

幸区役所

実施日 2024年9月27日[金]・28日[土]
会場 川崎駅西口周辺



幸区地域デザイン会議を経て、川崎駅西口周辺の地元町内会・商店街・事業者などで地域が一体となったプラットフォームの設立を目指す「さいわいにぎわいプロジェクト実行委員会」が発足しました。2023年度にまちのにぎわい創出に向けて、子どもから大人まで誰もが楽しむことができる「さいわいにぎわいフェス」を

プレ事業として開催しました。2024年度は、内容を拡充し、花手水の増設をはじめ、綱引き大会、ジャズ演奏、のど自慢大会や地域の飲食店など、地元町内会や企業それぞれの強みを活かしたコンテンツを展開し、地域手作り大きな「にぎわい」を創出することができました。



学校e～ね★サミット

教育委員会事務局

実施日 2024年10月23日[水]ほか
会場 各市立小学校、
グランツリー武蔵小杉

市制100周年を契機に、「キャリア在り方生き方教育」の「わたしたちのまち川崎」の視点で、各学校が教育活動を充実させ、



様々な取組を実施してきました。自分たちの学校や地域の様々な特色を学校ごとにスライドにまとめ、GIGA端末から閲覧できるようにした「学校e～ね★サミット交流サイト」で、学校間の交流を行いました。実際に他校の取組を知ることで、自分たちの学校の取組に生かそうとする姿も見られました。地域への発信では、学習した内容を各学校の学習発

表会などで発信したほか、「全市交流会」を開催し、地域や保護者に伝える取組を行いました。「全市交流会」では、8校の児童生徒が参加し、各学校の発表や、福田市長、小田嶋教育長との意見交換を行い、参加した児童生徒はもちろん、会場来場者の方々にとって川崎を改めて「知って、関わって、好きになってもらう」機会とすることができました。



鷺沼駅周辺の公共空間等 活用イベント

まちづくり局

実施日 2024年10月6日[日]ほか
会場 鷺沼駅前駐車場、周辺道路 ほか

鷺沼駅周辺では、再開発に伴い区役所、市民館・図書館の移転を予定しており、これからの100年を見据え、竣工前から市民の方々にまちづくりに関わっていただく機運の醸成を図るため、2024年10月に市、東急、商店会の共催で、道路空間で飲食などもできる「さぎ沼まつり」を開催し、過去最大の約16,000人が来場しました。地域との連携で、「本を感じる、本と出会う」を



テーマに、本を五感で楽しみながら、読書遊び尽くすイベントとして2025年2月に開催した「ぶくぶく(BOOK BOOK)」は、本の魅力を知るきっかけづくりの取組となりました。



川崎の発展と環境の 歴史を振り返り 未来を考える企画展

環境局

実施日 2024年7月27日[土]ほか
会場 かわさき宙と緑の科学館、富士見公園 ほか



川崎市の発展や環境の歴史を振り返り、未来の環境を考え行動するきっかけとする企画展を市内4つの会場を巡って開催しました。「写真を覗くルーペ」などの体験型展示により、大人から子どもまで楽しみながら学べるもので、多くの方に来場いただきました。未来の環境を担う子どもたちを対象としたワークショップでは、展示の見学や体験プログラムを通して、空と水、未来の環境と一緒に考え、リサイクルアートの工作を体験しました。また、これまでの環境関連の記録写真をまとめたデジタルアーカイブをWEB上に開設しました。



人生100年時代に備える 地ケアフェア

健康福祉局

実施日 2024年12月8日[日]
会場 市役所本庁舎

地域包括ケアシステムの普及啓発を目的に、市民文化局が主催する「まちのひろばフェス」と合同でイベントを開催し、約1,000人が来場しました。「地域に必要なケアを考える」と題した、在宅医療等に関する講演を行ったほか、「地域包括ケアシステム連絡協議会」に参画している企業・団体の協力を得て、健康チェックや相談、体験ができるブースを設置しました。また、「まちのひろばフェス」との連携企画として、ほっこり



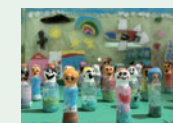
ポスターに登場する方々から、身近な地域のつながりづくりに関する取組を聞くパネルディスカッションを行いました。



子どもたちの作品展 「こんなまちに なったらいいな」

こども未来局

実施日 2025年2月21日[金]～2月26日[水]ほか
会場 高津市民ギャラリー ほか



公立保育所では、日本理化学工業から協賛いただいたキットパスなどを使って、「未来のまちづくり」をテーマに、色とりどりのワクワクする作品を作りました。子どもたちが描いた未来は、水と空気がきれいで、誰もが音楽を楽しめる場所や木登りができる木があり、飛行機で宇宙に行ける夢いっぱいのもちでした。作品は、市民ギャラリーなどに展示し、多くの方に子どもたちのメッセージを伝えることができました。



市主催事業のすべてをP.41「市制100周年を彩った全記念事業の記録」のページで紹介しています！

市民・企業・団体、 オール川崎市で盛り上げた

100周年



きれいなまち「かわさき」から未来へ 市制100周年・川崎駅クリーンアップ大作戦

グリーンバード川崎駅チーム

スターバックスコーヒー
川崎地区7店舗



グリーンバード
川崎駅チーム
代表
田村 寛之さん

スターバックス
アトレ川崎店
ストアマネージャー
蒔田 梓さん

川崎駅周辺で清掃活動を行っているグリーンバード川崎駅チームとスターバックスコーヒー川崎地区7店舗がタッグを組んで、まちをきれいにする活動に取り組みました。

きっかけは、スターバックスコーヒーアトレ川崎店ストアマネージャーの蒔田梓さんが、地域と もっとつながりたいと思っていた矢先のグリーンバード川崎駅チーム代表田村寛之さんとの出会い。「100周年を控えていたこともあり、一緒にごみ拾いをして、まちをきれいにしようすぐに動き出しました」と蒔田さん。2023年7月に初めて「市制100周年・川崎駅クリーンアップ大

作戦」と銘打った合同清掃を実施。5回目の開催となった2024年7月の清掃活動では、100周年にちなんで“参加者100人”を目指しました。迎えた当日、ゴール地点の東田公園は、清掃を終えた100人を超える参加者の笑顔に包まれました。「回を重ねるにつれて参加者が増えていき、100人が集える広いスペースが必要になったため、東田公園コミュニティーハウスさくらを運営する団体の溝井さんにも清掃のゴール地点を東田公園にする際の協力を得るなど、地域のつながりがこの活動の支えとなりました」と田村さん。

蒔田さんは、「店員も清掃活動と一緒に参加したり、店舗のコミュニティボードを使って手書きでクリーンアップ大作戦の告知や川崎の魅力紹介をすることなどを通じて、地域がとても身近に感じられるようになりました」とこの1年を振り返ります。「活動の中でトンブやごみ袋を持つ人、安全管理をする人など役割分担をすることで

自然に交流が生まれるしかけづくりを意識しています。また、次世代にバトンを渡すまで自分が責任を持って活動を継続しながら、長く続けられるしくみを作っていきたい」と田村さんは話します。

蒔田さんも「つながり」を強調し、「この活動から、たくさんのつながりが生まれ、新しい化学反応が起きて、活動が広がって、というのが川崎で続いていくといいですね。私たちも、コーヒーを届けるだけではなく、さらに川崎の持つ多彩な魅力を広めて、まちに還元していきたいと考えています」と話してくれました。きれいなまち「かわさき」のかけ合わせを生み出した2人は、すでに次の100年に向けて動き出しています。



より良いまちづくりの一端を担う まち歩き謎解きゲームinカワサキ&かわさき未来フェス

川崎青年会議所 × 川崎の地域資源



川崎青年会議所
副理事長
中野 純斗さん

市内の若手経営者などが中心となって、まちづくり活動に取り組んでいる川崎青年会議所は、市制100周年を記念して、「まち歩き謎解きゲームinカワサキ」「かわさき未来フェス」をはじめとした多くのイベントを市内各地で開催し、節目の年を盛り上げました。

「まち歩き謎解きゲームinカワサキ」は、市役所本庁舎や東芝未来科学館など、川崎駅周辺10カ所のポイントでクイズを解きながら、川崎の魅力に触れてもらおうという企画。県外・国外

からの観光客を含めた約2,000人の参加者に川崎の魅力を感じてもらえる機会となりました。また、高津区の橘公園で実施した「かわさき未来フェス」では、子どもたちに50年後の川崎がどうなっていてほしいかを聞き取り、イラスト化した「かわさき未来予想図」を作成したほか、子どもたちが書いた未来への手紙をタイムカプセルに封入。イベントのフィナーレでは、参加者全員で「100周年記念キャンドルナイト」を灯し、期待や願いを未来に届けました。

イベントを企画・運営した同会議所副理事長の中野純斗さんは「一連の取組を通じて、川崎のことが好きなんだと気づかされた」と振り返ります。イベントの準備でまちを歩いたときには、若者文化発信の拠点「川崎文化会館」や本庁舎の展望ロビー・スカイデッキなどの新しい施設と、稲毛神社、昭和の時代からにぎわう銀柳街など歴史と伝統あるものが共存するまち

なみに、多様性こそが川崎の魅力だと改めて実感したそうです。また、イベント実施の過程で地元企業や団体の方々との出会いがあり、川崎らしいウェットな人と人のつながりを感じられたことも大きな収穫となったそうです。

中野さんは「次の100年は、ありのままの川崎の良さを知ってもらいたい。そして、今回のつながりを生かして、活動を市内全域に広げられると思っています。これからも川崎に密着した団体として、かけ合わせを楽しみながらより良いまちづくりに貢献していきます」と意欲を見せました。



「かわさき未来フェス」のかわさき未来予想図とキャンドルナイト

実行委員会参画団体主催事業・パートナー主催事業

多くの市民、企業、団体の皆さまによる「100周年を祝い、盛り上げる」自主的な取組の数は400を超えました。こうした多くの取組の中から、まちに関わり、つながりあいながら新しいアクションを生み出した方々に、100周年のチャレンジとこれからの100年への想いを語っていただきました。

※パートナー主催事業・・・100周年の趣旨に賛同する市民や実行委員会に参画していない企業・団体による自主的な事業



川崎をクラフトビールの「聖地」にする礎に 市制100周年記念クラフトビール

鍵屋醸造所

東海道BEER
川崎宿工場



鍵屋醸造所
代表
佐藤 学さん

東海道BEER川崎宿工場
代表
岩澤 克政さん

市内のクラフトビール醸造所からは、「(株)KEY CORPORATION／鍵屋醸造所(幸区・佐藤学代表)」と「(株)岩田屋／東海道BEER川崎宿工場(川崎区・岩澤克政代表)」の2社が、「市制100周年」を記念したクラフトビールで、市制100周年に彩りを加えました。

鍵屋醸造所の記念ビール「Transparent」(トランスパレント)は、赤、緑、青の光の3原色のラベルに、市ブランドメッセージロゴをデザインしたスタイリッシュな瓶と、3種類それぞれ

の個性を持った味わいが特徴のビール。佐藤さんは「川崎は南と北で雰囲気が異なり、まちごとに違う表情を見せる。多様なものが詰まっている川崎を、瓶のデザインと味で表現した」とコンセプトを説明。一方、東海道BEER川崎宿工場の記念ビールは、市民の花「ツツジ」で赤、市特産の「のらぼう菜」で緑など、市ブランドメッセージの3色を川崎にゆかりのある素材で表現したアイデアあふれる逸品。岩澤さんは「川崎の3色をどう表現するか試行錯誤して考えた。青のラベルには、市バスキャラクターのかわさきノルフィンを使わせていただきました。」と笑顔で話してくれました。

どちらも売れ行きは好調で、在庫切れにならないよう醸造・出荷のスケジュールのきめ細やかな管理が必要なほどの人気を博しています。「記念ビールの開発だけではなく、JR東日本と連携して開催した『NAMBU LINE CRAFT BEER BINGO』には市内各所のクラフトビールが集結し、たくさんの新たなつながりも生まれ

ました。101年目の2025年は、つながった川崎のクラフトビールをさらに盛り上げていながら、鍵屋醸造所としても、川崎らしさあふれる新作ビールを完成させる予定です」と佐藤さんは意欲を見せます。「実は、今回の縁もあって、東海道BEER川崎宿工場と鍵屋醸造所のコラボビールも完成したんです。」と岩澤さんからサプライズの発表もありました。

100周年をきっかけに、新しいつながりや、新しい商品が次々と生まれ、動きが加速している市内のクラフトビール業界。この先川崎がクラフトビールの「聖地」となるべく最初の一步が踏み出されました。



鍵屋醸造所(左)と東海道BEER川崎宿工場(右)の記念ビール



川崎市市制100周年を 勝手に祝う市民フォーラム

市民 × 市民



フォーラムには、市の職員の姿も見られました。「他者と生きる」、「市民自治を考える」などをテーマにしたセッションやさまざまなテーマで社会を語り合う「市民社会マルシェ」などに100人以上が参加。朝から夜遅くまで市民同士の対話が続く、川崎のこれまでの歴史と記憶を共有し、これからの川崎の未来を語り合いました。



地域で活動する市民や有識者で実行委員会を組織して企画した川崎の未来を語る市民



かわさき100ラジ

かわさきFM × 川崎に関わる企業・団体



おつぽの蔵



ホテルメトロポリタン川崎

「かわさき100ラジ」は、100周年実行委員会に参画する企業や団体に出演いただき、その取組やイベントをラジオのリスナーに知ってもらうかわさきFM提供の企画。記念事業期間を通じた毎週2回の放送に出演した約100組の企業・団体・市民の皆さんは、パーソナリティとのかけ合いで、楽しく自分たちの取組をPRし、一緒に100周年を盛り上げました。

出演者を募集するチラシ▶



市民・企業・団体による多彩なアクションのすべてをP.41「市制100周年を彩った全記念事業の記録」のページで紹介しています!

KAWASAKI Special Supporter

かわさきスペシャルサポーターの
キセキ 2022-2025



かわさきスペシャルサポーターとは？

川崎市制100周年を契機に、市民の「川崎への愛着・誇り（シビックプライド）」の醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図ることを目的に誕生した新たな制度。若い世代、特に20歳代、30歳代を中心に絶大な支持があり発信力が高く、本市にゆかりがあるインフルエンサーと連携して事業を展開しました！

若い人たちにも、この川崎をもっと好きになってほしい！
どんなことをすると、みんな川崎が好きになるだろう？
その思いからはじまった「かわさきスペシャルサポーター」
3組のみなさんと真剣に、考えました。
そして、100周年を迎えたこのまちで、
ステキなコラボ企画が、たくさん生まれました。
スペサポ始動からこれまでの、3年間の軌跡をたどります。

2022 ▶▶▶▶▶

川崎出身のロックバンド、 SHISHAMOとsumikaが かわさきスペシャルサポーターに就任！

それぞれお気に入りのロケ地で
川崎市長と100周年への夢を語り合いました。



sumikaと「音楽のまち・かわさき」の マスコットキャラクター かわさきミュートンがコラボ！

オリジナルデザインのオフィシャルグッズを期間限定販売！
頑張る子ども・若者等を応援する「川崎市子ども・若者応援基金」に
売上金の一部を寄附していただきました。



◀◀◀◀ 2023

音楽をがんばる若者を応援したい！ SHISHAMOの想いを、 バンドスコアに込めました。

市内中学・高等学校などに寄贈した特別版バンドスコアには
1曲ごとにメンバーからの演奏アドバイス&初採譜楽曲も！



◀◀◀◀ 2024

SHISHAMO、sumikaが、 リスナーから寄せられた メッセージとともに、川崎を語り尽くす!?

川崎のコミュニティ放送局「かわさきFM」で
「すぺさぽ談話室」を2夜連続放送！

川崎愛あふれる写真展「すぺさぽ写真館」

市内で撮影されたSHISHAMO、sumikaのLIVE写真、
2024年6月に開催した「かわさき100フェス」の衣装展示や
ここでしか聴けないメッセージなど、盛りだくさんな企画！
2ヶ月のロングラン開催で、来場したファンの皆様から
たくさんの応援メッセージも寄せられました。



2024-2025 ▶▶▶▶▶



プロダンスチーム「KADOKAWA DREAMS」 スペサポ就任&コラボイベント始動！

川崎病院では、入院患者さん向けミニイベントを開催したほか、
「小児病棟をもっと明るくIKDデザイン壁紙」を寄贈いただきました。
さらにダンスレッスン動画も制作しGIGA端末の副読本に収録！
幸区のキヤノンポリュメトリックビデオスタジオ-川崎で
撮影された未来的でクールな映像に驚き!!

ここでご紹介したコラボ企画以外にも、市役所・区役所庁舎でのメッセージ放送、JR南武線の車内・駅構内放送、
市政だよりや記念誌への出演・寄稿、SNSでの連携など、多彩な事業を展開しました。

詳しくはホームページで！

かわさきスペシャルサポーター



民間企業 出向職員 座談会

『知って』『動いて』『作り上げて』『楽しんだ市制100周年』



川崎市市制100周年記念事業は、民間企業からの出向職員（行政実務研修員）が2年間にわたり市職員と一緒に肩を並べて事業に取り組み、共に創り上げて盛り上げました。企画立案から準備、実施に至るまでのさまざまな思い出話を4人の出向職員と市制100周年記念事業担当部長の小池智也さんと振り返りました。

それぞれの特長をフル活用したチャレンジ

一 出向職員とともに事業に取り組んだ理由は。

小池 川崎市の100周年記念事業は「行政だけの事業じゃない」ということを最初の段階で固め、その上でどのような事業にしていこうか色々考えました。その中で、市民や企業の皆さんと一緒に色々なアクションを起こし、それを通じて、市のことを知って、関わってもらい、好きになってもらおうと方向性を定めた時に、我々だけではアイデアも知見も少なかった。そこで、行政実務研修員の制度を通じて、民間企業から4名出向いただき、企画段階から一緒に取り組んできました。

一 皆さんの出向元や事務局での主な業務を教えてください。

坂口 川崎信用金庫から出向してきました。出向初日は、人生で一番緊張しましたね。転職経験がなかったので、初めての転職のような感覚でした。業務としては、実行委員会に新しく参画する団体の加入受付や協賛金のお願いなど、川信に勤めている時のノウハウを生かせる対外的な仕事が多かったです。

猿田 私は東急株式会社からの出向です。これまでグループ会社内での出向経験はあったのですが、今回は業種だけでなく職業が変わるかのような異動でしたので、自分だけではなく家族も驚きました。業務は実行委員会に参画している400団体の担当者の方々と交流会の開催調整などを任せられ、いろいろな方と会話する機会を

いただきました。

野尻 城南信用金庫から出向してきました。出向前は支店配属で50ccのバイクに乗ってお客様回りをしていて、出向の1年前ぐらいから市内に引っ越したので縁を感じていました。プレ事業の「Colors, Future! Summit2023」でのデジタルスタンプラリーを皮切りに、いくつかの実行委員会主催事業の企画・運営などに取り組みました。

山村 富士通株式会社からの出向です。出向の社内公募を見た時、率直に面白そう、次にできる可能性があるのがきっと50年後で一生に一回の機会だと思い手を上げました。主に公式ウェブサイトの運営を担当し、紹介する事業に携わる人が喜んでくれて、見る人も面白く感じてもらいたいとの思いでサイトや記事を作成してきました。

小池 山村さんはウェブサイトの立ち上げから管理までほぼ一手にやっていたで、山村さんがいないとウェブサイトが回らない、それくらいの役割を果たしています。今回1億円を超える協賛金が集まりましたが、坂口さん、野尻さんが関係性を作りながら共感を得る働きかけをしていただきました。猿田さんも各局のつながりをつくり、ハード系の関係性を築き上げました。我々市職員もすごく勉強になりました。

坂口 我々自身も役に立っていることが多かったなので、適材適所の配置があったからではないでしょうか。

小池 2年間で何か得ることがあったなって思ってもらえるとすごく嬉しいですね。

一 印象的なエピソードがありましたら教えてください。

野尻 「Colors, Future! Summit2024」で、「未来の食」をテーマにしたイベントを行い、3社の企業の橋渡しにより動物性のものを使わないプラントベースのハンバーガーを作成、販売することが実現し、100周年のテーマである「共創」をつくることができたことが印象に残っています。出向元ではできない経験をさせていただきました。

猿田 私は「かわさき飛躍祭」で会場周辺の小学校とメイン会場の駐輪場の鍵を朝6時に開け、夜は川崎フロンターレの試合を楽しめた方に声を掛けながら施錠をして回ったことがすごく記憶に残っています。後日、100周年コースター企画で二子新地のお店に行った時に、「あの日は仕事で忙しくて外に出られなかったけど、ブルーインパルスの音で飛躍祭だったことを思い出したよ」と聞いて、飛躍祭会場にいた18万人だけではなく、その他のエリアでもブルーインパルスをご覧になられた方の生の声を聞けたことが嬉しかったです。

坂口 市役所通り全面6車線を使って行った「みんなの川崎祭」で、捨てられてしまう服を集めてスタイリッシュに再利用するファッションショーを行った際に、集める拠点に川崎信用金

庫本店が協力したのですが、その橋渡し役ができたことは感慨深いです。「みんなの川崎祭」は大がかりなイベントでしたので、毎週定例会を開いて準備を進めてきた半年間は一番の思い出です。イベントは、まだ成長途上の段階ですが、皆さんに支えられながら段々大きくなっていく様子を見ていきたいです。

山村 9月、10月の週末は毎週何かしらのイベントに顔を出して写真を撮り、ウェブサイトに記事

を掲載したりしていました。イベントでは来場した市民の皆さんの笑顔を楽しんで撮ることができたことが思い出に残っています。健康福祉局と川崎市動物愛護センター「ANIMAMALLかわさき」との連携で行った動物愛護シンポジウムを企画から懇親会までの大きな部分を担当したこと印象深いです。市に出向したからこそ、体験できたし楽しめたし苦勞できたことだと思います。

坂口 一つだけ心残りなのは、我々は自分たち

が携わったイベントをお客さんとして楽しめていないということです（笑）。出向が解けて自社に戻ったら、来場者として純粋に全力で満喫したいですね。

小池 出向で来てくれた方がすごい頑張ってくれて、それで100周年の事業がそれぞれこう生まれてきてるのだと、改めて感じてました。チームとして頑張れたんだなって嬉しくなって、ちょっとウルウルしています。

これからも川崎とともに

一 出向経験を今後どのように生かしていきますか。

山村 「ゼロイチ」の部分で、何もないところから企画を考えて立ち上げることを本当にたくさん経験させていただきました。自社に戻ってからは、社内に新しいサービスをつくる、新しいビジネスを考える、もしくはまちづくりの部門と連携しながらこの経験を生かせればと思っています。富士通の人間としての業務なのか、山村個人としての活動になるのかは分からないのですが川崎に貢献できればいいなと思っています。

坂口 関わっている事業は川崎市の課題解決に取り組んでいることなんだと、途中から思うようになりました。市民の期待に応え、ファンを増やすことは、企業でいえばお客様の支持を得

ることと共通しています。市は100周年という年に「期待していることをやります」と言ってるから止めるわけにはいかない。有言実行の大変さの中、事業を良くしていこう、もっと熱くできるとの思いを終始持ってやってきて、自社に戻ってもすべきことは変わらずに課題解決だと思っています。私も市民であり、市内企業に勤める人間なので、やっぱり自分の好きな地域がどんどん発展していき、周りからも羨ましがれるようなすごくいいまちだと今よりも胸を張って言えるような感じにしていのが最終目標だと思ってます。

野尻 お客さまのことを親身になって考えるのが自社の方針ですが、今回の出向期間中も関

わった多くの方々が良くなるよう取組ができたと思います。戻ってからも、お客さまのためになることを行い、信頼を得ていきたいです。100周年を通じてできたつながりも私の財産ですので、引き続きお付き合いさせていただきたいです。

猿田 行政の中で地域と一緒に仕事できたまたとない機会だったので、今回取り組んだ一人ひとりの住民を大事にしていこう姿勢を、今後の人生に生かしていきたいです。これからも行政の方々と一緒に仕事をする機会があると思うので、今回の経験を生かしてまちづくりに関する仕事を進めることが、よりよいまちづくりにつながっていくと信じています。



坂口 将史さん
(川崎信用金庫から出向)

猿田 一秋さん
(東急株式会社から出向)

野尻 浩之さん
(城南信用金庫から出向)

山村 知暉さん
(富士通株式会社から出向)

小池 智也さん
(川崎市総務企画局シティプロモーション推進室 市制100周年記念事業担当部長)

関わって「川崎」をもっと好きに

一 最後に、2年間を通して皆さんにとっての「川崎」とはどのようなものになりましたか。

野尻 これまでの人生で、川崎は通過点でしたが、たまたま川崎に住むようになり、さらに仕事で関わるようになり、「ずっと携わっていききたいまち」と思うようになりました。第2の故郷に自分の中で変わっていきました。

山村 私にとっての川崎はまだまだ隠された場所、秘密の多いまちだと感じています。個人的に元々の川崎のイメージは、正直なところネガティブなイメージが先行していましたが、関わってみてこんなに面白いところがあるんだ、こんなに温かい市民の皆さん、職員の皆さんがいるのだと感じました。

坂口 野尻さんも言っていましたが、単なる通過点にすぎないまちだったのに、最終的にはもうどっぷり終着駅になりそうです。個人的な生活環境もそうですが、JFEスチール株式会社東日本

製鉄所跡地に水素ステーションができるといった、この先、まちが発展していく面白さからも目が離せないし、社会的にも環境的にも、もしかしたら日本全国からも見逃せないまちになっているのではないのでしょうか。

猿田 川崎市は各地でまちづくりが進み人口が増えている、「成長を続ける街」だと実感しました。自社へ戻った後にも、川崎市のまちづくりに携わっていききたいと思いますし、プライベートでも、川崎市を「知って、関わって、好きに」になりましたので、これを機に川崎市に引っ越し予定です。

小池 この2年間、皆さんと一緒に仕事できたことがものすごく嬉しかったです。出向に御協力いただいた企業、出向者の4人に心から感謝いたします。市制100周年記念事業の計画に「好きがあふれるまちづくりを、さあいっしょに。」というステートメントがあります。さまざまな取組を通じて、最終的に川崎のことを好き

になってもらいたいという思いを込めた言葉です。先ほどからのみなさんのコメントで川崎に愛着を持ってくれたのがすごく嬉しくて、これからも変わらずに好きだと思ってもらえるような川崎にしていきたいです。100周年記念事業を通じて実行委員会の参画団体、企業同士、川崎市がつながりを持てたことも良かったですし、4人の仲間たちとはこれから先もずっとつながり続けていきたいですね。



市制100周年を彩った全記念事業の記録

市制100周年記念事業では、市制100周年という歴史的な節目に、川崎市に関わる多くの方に改めて川崎を「知って、関わって、好きになって」いただく取組を市民・企業・団体・行政の「オール川崎市」で進めてきました。ここでは、実行委員会が主体となり「Colors,Future!Actions」を体現した実行委員会主催事業、川崎市が主体となり100周年を契機として、一歩先を目指す+αにチャレンジした川崎市主催事業、100周年の趣旨に御賛同いただいた企業・団体・市民の皆さまによる実行委員会参画団体主催事業・パートナー主催事業の全記念事業について、プレ事業として実施した2023年度の取組も含めて紹介します。

記念事業の分類

実行委員会主催事業	川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会の主催事業
川崎市主催事業	川崎市の主催事業
実行委員会参画団体による事業	川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会に参画した企業・団体の主催事業
パートナー主催事業	記念事業の趣旨に賛同した市民、団体、企業等（実行委員会非所属）の主催事業

15のActionテーマ

市制 100 周年記念事業に取り組む際に、どんな Action ができそうかを企画・検討しやすくするため、「より川崎をよくする」取組の“目印”を 15 の「Action テーマ」として設定しました。

 ACTION 01 グリーン・コミュニティ	みどりを増やすのみならず、みどりと人の多様で新しい関係づくり。都市環境整備の活動など。	 ACTION 02 ブランディング	川崎ブランドを伝えるメディアの開発や、新たなスーベニアの開発など。	 ACTION 03 ビジネス・インキュベーション	企業支援・研究開発（スタートアップ支援・量子コンピューター・ネティブの育成など）
 ACTION 04 ネクストジェネレーション	ブレイキンやBMX、スケートボードなど若者文化を広める活動や、若者のアクションを応援する活動。	 ACTION 05 名物フード	ダイバーシティを体現するソウルフードの開発。フードロスアクションの推進など。	 ACTION 06 チアアップ	シニア・健康・子育てなどを応援する活動。
 ACTION 07 ナイトタイムエコノミー	ナイトマルシェの開催や、夜でも安全に楽しめるパークの整備など。	 ACTION 08 サステナブル	環境・臨海部に関する活動。脱炭素の取り組みや循環型の持続可能なまちづくりに関する取り組み。環境技術など。	 ACTION 09 イベント・祭	フェスの開催や、地産地消マルシェの推進、ハロウィンに続くシンボルイベントの創出など。
 ACTION 10 Well-being	健康福祉。コミュニティへの参加や憩いの場の創出など。	 ACTION 11 グローバル	インバウンド向けの情報発信、コト消費の開発、在住外国人との交流支援など。	 ACTION 12 アート&ミュージック	文化・音楽に関する活動全般。アートのDX 推進。新たな表現スペースの創出など。
 ACTION 13 スポーツ	サッカーやバスケットをはじめとする、スポーツに関わるもの全て。	 ACTION 14 学び	まちの歴史探求や工場見学といった学び体験やコンテンツなど。	 ACTION 15 安全・安心	防犯や地域の見守り、災害への備えといった安全・安心のまちかわさきへの取り組みなど。

2023 プレ記念事業（2023年度実施）

パートナー主催事業

■「元祖ニュータンタンメン本舗」のコラボカップ麺発売

サンヨー食品、元祖ニュータンタンメン本舗グループ

川崎のソウルフードとして多くの市民に愛される「元祖ニュータンタンメン本舗」。定番ニュータンタンメンの味を再現したカップ麺のパッケージに、「2024年に川崎市が市制100周年を迎える」ことなどを印字した「川崎応援デザイン」で、市制100周年をPRしました。2024年3月には、「川崎フロンターレコラボデザイン」の限定発売も開始。市制100周年を迎える「川崎市」と「川崎フロンターレ」がコラボレーションしたカップ麺のフタは全部で9種類。それぞれのフタには、川崎フロンターレのチーム創立からこれまでの出来事の写真と年次がデザインされました。

開催日：2023/4/1 ほか



実行委員会参画団体による事業

■川崎フロンターレ後援会会員向けの市制100周年PR

川崎フロンターレ後援会

後援会会員（約5万人）向けの会報誌「Delfino(デルフィーノ)」を郵送する封筒の裏面全面を使い、市制100周年を迎えることや「かわさき飛躍祭」などの100周年イベント情報を計8回にわたって掲載し、会員に100周年情報を届けました。

開催日：2023/7/1 ほか

パートナー主催事業

■市職員チーム「川崎ボッチャーレ」100周年ユニフォーム

川崎ボッチャーレ

ボッチャの市職員チーム「川崎ボッチャーレ」は、市制100周年記念オリジナルユニフォームを製作。「第4回ボッチャユニバーサルカップ」から、記念ユニフォームを着用して100周年をPRしながら様々な大会に挑戦し、国内最高峰のインクルーシブ大会では見事優勝しました。

開催日：2023/9/2 ほか

実行委員会参画団体による事業

■川崎日航ホテルの「夏フェス 2023」

川崎日航ホテル

川崎日航ホテルの夏フェスは、家族みんなが楽しめる恒例の夏祭りイベント。ホテルの宴会場が夏祭り会場に変身した2日間、たくさんの来場者で賑わいました。11階の「縁日&体験」フロアでは、川崎ゆかりの企業、団体が多数出展し、夏休みの自由研究のヒントになるワークショップなどが行われました。12階の「フードコート&ダンスパフォーマンス」フロアでは、地元川崎の食材を使ったメニューを屋台スタイルで提供したり、地元で活躍するキッズダンス・フラダンス、市立高津高校ダンス部のパフォーマンスが行われ、会場を賑やかに盛り上げました。

開催日：2023/8/5、8/6
会場：川崎日航ホテル



実行委員会参画団体による事業

■市制100周年記念「スイーツおせち二段重」

川崎日航ホテル

2024年に迎える川崎日航ホテルの開業60周年と川崎市の市制100周年を記念した「スイーツおせち二段重」は、川崎産の食材を使い、市のブランドメッセージカラーをイメージして作った3色マカロンをはじめ、お正月の縁起物をモチーフにした2024年の干支「辰」のめでたパイ、福ダルマ、招福バイクドチーズのほか、産地にこだわったはちみつロール、ショコラ柚子、ブルーベリーレアチーズ、足柄抹茶のオペラ、パティシエの羊羹、パバロアマロン、ピスタチオラズベリーの全11品目を彩り豊かに詰め合わせた、華やかなスイーツおせちとなりました。

開催日：2023/9/14～2023/12/25
会場：川崎日航ホテル



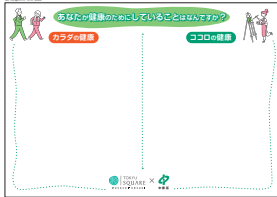
実行委員会参画団体による事業



■みんなで健康プロジェクト

武蔵小杉東急スクエア、中原区役所

市制 100 周年記念事業の目印となる 15 個の「ACTION テーマ」中から「チアアップ」に関連する取組として 2023 年に開催した「みんなで健康プロジェクト」では、健康に関する取組を書きこんだポスターで健康情報をシェアしたほか、健康をサポートする中原区の施設やイベントのチラシを配布しました。参加者には、100 周年のグッズをプレゼントしたほか、イベント当日は「ミミケロ」がやってきて、会場を盛り上げてくれました。



開催日：2023/9/23

会 場：武蔵小杉東急スクエア



実行委員会参画団体による事業



■プロレスリング・ヒートアップ「Anker フロントタウン生田大会」

プロレスリング・ヒートアップ株式会社

稲田堤に道場を構え、地元の社会福祉にも力を入れる「プロレスリング・ヒートアップ」が、川崎フロンターレが運営する「Anker フロントタウン生田」では初となるプロレス大会を開催しました！ポッチャ体験、パターゴルフなどプロレス以外も楽しめるフェスとなりました。



開催日：2023/9/24

会 場：Anker フロントタウン生田

パートナー主催事業



■ひまわり引っこ抜き大会

NPO 法人姿勢教育の孝心会まじらき隊

「自分より大きいひまわりを引っこ抜いてみたい！」という子どもの声から企画された学生ボランティアによるイベント。まちが良くなる SDGs の推進にもつながる取組として、ひまわり楽しく引き抜いたあとは、次の年の種まきに向けて種を回収しました。



開催日：2023/9/24

会 場：東田公園

パートナー主催事業



■かわさき阿波おどりで市制 100 周年を PR

川崎きさわか連

川崎市役所の現役職員や OB・OG などで構成する「川崎きさわか連」は、川崎駅前で開催される「かわさき阿波おどりで」に毎年参加しています。市制 100 周年の前年に行なわれた「第 38 回かわさき阿波おどりで」では、「Colors,Future! Actions KAWASAKI 100th」をあしらった手ぬぐいと団扇を手に、銀柳街・銀座街で観客と手の届く距離で舞い踊り、市制 100 周年を迎えることを PR しながら、熱気と感動をお届けしました。



開催日：2023/10/14

会 場：川崎銀柳街・銀座街



パートナー主催事業



■南原小学校 4 年生による通学路を花で彩る取組

川崎市立南原小学校 4 年生、高津区役所道路公園センター

南原小学校から高津区役所道路公園センターに、「総合的な学習の時間の一環として、管理の担い手がなくなった花壇に花を植えて地域の環境をよくしたい」との提案があり、実現した取組です。通学路がきれいになるよう、南原小学校の 4 年生が、通学路に隣接する約 23m の箇所の土を耕して、手でコネコネ丸めて作った「たねダンゴ」を植える花づくり・花かざりの取組となりました。



開催日：2023/10/30

会 場：南原小学校通学路



実行委員会参画団体による事業



■ローカル SDGs マルシェ in 橘公園

かわさき生活クラブ生活協同組合

ローカル SDGs マルシェを橘公園で開催。川崎市で活躍するお店、作家、アーティストに出会えて SDGs を知るきっかけになるマルシェとしてワークショップも多数開催し、大人も子どもも楽しみながら、たくさんのつながりが生まれるイベントになりました。



開催日：2023/11/3、11/4

会 場：橘公園

パートナー主催事業



■エルカジまつり 2023 ~もっと楽しもう、私の街~

エルカジまつり実行委員会（梶が谷駅前通り振興会）

梶が谷駅から L 字状に広がる商店会のイベント。「もっと楽しもう、私の街」をテーマに、和太鼓、忍者、音楽などのステージパフォーマンスや体験ブースでの瓦割り体験・パトカー見学など、梶が谷を楽しみ、好きになるイベントとなりました。



開催日：2023/11/12

会 場：コジマ×ビックカメラ梶ヶ谷店

パートナー主催事業



■小杉小学校 6 年生による「市制 100 周年記念花壇」の製作

川崎市立小杉小学校 6 年生

市制 100 周年の出前授業をきっかけに、小杉小学校の 6 年生が市制 100 周年のお祝いとして記念花壇の製作を提案し、実現した取組です。隣接するこすぎ公園に製作した記念花壇には、「100th」の文字を花で表現しました。花壇製作当日は、板橋中原区長も応援に駆けつけ、児童は通りすぐりの周辺住民の方や、近隣幼稚園の園児に「どうして取り組んでいるのか」、「どういった思いでデザインしたのか」などを伝えました。

開催日：2023/11/15

会 場：こすぎ公園



川崎市主催事業



■新本庁舎開庁記念式典の実施、大型ディスプレイを活用した PR

総務企画局

2023 年 7 月・8 月に開催した新本庁舎内覧会・見学会では、2 階ホールに市制 100 周年記念ブースを設け、白黒写真カラー化パネル展などで川崎のこれまでの魅力を発信するとともに 100 周年ロゴマークをプリントしたトートバッグを作成し、参加者約 800 名に配布しました。また、11 月 6 日に実施した新本庁舎開庁記念式典には、市制 100 周年記念事業実行委員会の皆さまを来賓としてお招きするとともに、式典開会前に市制 100 周年・緑化フェア関係動画を大型ディスプレイに投影し、市制 100 周年記念の機運を醸成しました。



開催日：2023/11/6 ほか

会 場：市役所本庁舎





■市制 100 周年記念 「スポーツチャンバラ体験会」

玉川館

川崎市制 99 年の 2023 年に川崎を拠点に練習するスポーツチャンバラの団体として「玉川館」が誕生しました。この「玉川館」が主催したスポーツチャンバラの体験会には、約 20 人が参加し、スポーツチャンバラの面白さを知る機会となりました。



開催日：2023/11/25 会 場：カルッツ川崎



■こすぎこんぼすと部 OPENDAY

こすぎこんぼすと部

コンポストや地域の食循環を多くの方に知って欲しいという想いから開催されたイベント。公認 LFC コンポストアドバイザーによるはじめてのコンポスト講座や循環をテーマにした雑貨マルシェなどが行なわれ、19 人が来場しました。



開催日：2023/12/16
会 場：木月キッチン free space



■建設車両に貼るマグネットで 市制 100 周年を PR

一般社団法人川崎建設業協会

川崎建設業協会が、市制 100 周年を記念して建設車両に貼るオリジナルのマグネットを作成。100 周年マグネットを貼り付けた会員各社の車両や重機が、それぞれの現場で、市内はもとより、市外、県外にも広く川崎の 100 周年を PR しました。



開催日：2023/12/18 ～ 2025/3/31



■親子で楽しむ人形劇 「はてな王子といっしょ」

人形劇団ひとみ座

中原区の井田にある 2023 年に創立 75 周年を迎えた「人形劇団ひとみ座」では、地元の方のための居場所づくりやイベントを開催しています。この人形劇では、客席の後方に抱っこしながら鑑賞できるスペースを設け、たくさん親子連れが人形劇を楽しみました。



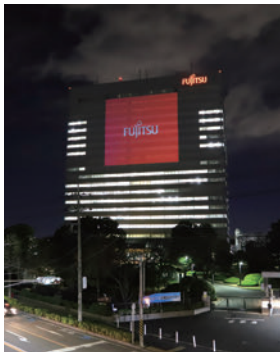
開催日：2023/12/24 ～ 12/27 ほか
会 場：ラゾーナ川崎プラザソル



■Fujitsu Illuminations 2023

富士通株式会社

地域の皆様への日頃の感謝を込めて「Fujitsu Technology Park(旧川崎工場:2024.4 に名称変更)」の壁面をライトアップしました。富士通の取組の投影に加えて、2024 年に川崎市が市制 100 周年を迎えることを、地域の皆様にごっていただくため、100 周年のロゴの投影を行いました。近隣の皆様だけでなく、南武線を利用している皆様からも、ライトアップへの嬉しい感想をいただきました。



開催日：2023/12/21、12/22
会 場：富士通株式会社 Fujitsu Technology Park



■市制 100 周年を祝う 横断幕の掲出

宮前区全町内・自治会連合会

宮前区鷺沼 1 丁目の国道 246 号線沿いに、市制 100 周年を祝う幅約 7 m の大きな横断幕を掲出しました。通りがかった住民の方から「川崎市が 100 周年を迎えるんだね、昔この辺りは…」と昔を懐かしむ会話が生まれるきっかけにもなりました。



開催日：2024/1/1 ～ 2024/12/31
会 場：宮前区鷺沼 1 丁目



■市制 100 周年を祝う 宝船の製作

初山自治会

宮前区の平瀬川沿いにある初山自治会が管理する花壇に、市制 100 周年を祝う宝船を作りました。自治会有志が廃材等を使って作り上げた力作です。春の七草や葉牡丹などを植えた全長約 140cm の縁起物の宝船が、川沿いで散歩する人たちを楽しませました。



開催日：2024/1/1 ～ 2024/12/31
会 場：宮前区初山 2 丁目



■等々力でラグビーを楽しもう！東芝ブレイブルーパス東京 100 周年記念試合

東芝ブレイブルーパス東京

ラグビーリーグワン「東芝ブレイブルーパス東京 vs クボタスピアーズ船橋・東京ベイ」を市制 100 周年記念試合として、市内の小中高生を無料招待して開催しました！試合前のラグビー体験会では、はじめてラグビーボールに触れる子どもたちも大喜びでした。また地元ラグビーチームの子どもたちに選手が熱血指導。あこがれの選手からの指導に子どもたちも真剣に聞き入っていました。試合ではリーチマイケル選手やオールブラックスの選手などが世界トップレベルのプレーを展開し、ブレイブルーパスが 24-20 で見事勝利！そのままの勢いで、大激戦のリーグワン 2023-2024 シーズンで劇的な優勝を果たし、市制 100 周年に華を添えました。川崎市と「フレンドリー協定」を締結している東芝ブレイブルーパス東京は、これからも、川崎市のみなさんにラグビーを好きになってもらえるよう、取り組んでいきます。



開催日：2024/1/7 会 場：Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu



■「清酒多摩ほまれ」のラベルに 100 周年ロゴマークを使用

川崎酒販協同組合

川崎酒販協同組合では、1983 年より川崎生まれのお酒「清酒多摩ほまれ」を長きにわたり販売してきました。地域に根差し、川崎市とともに歩みを進めてきた組合として、2024 年に迎える市制 100 周年を祝うため、市制 100 周年ロゴマークをラベルに載せた「清酒多摩ほまれ」を市内の組合加盟店で販売し、川崎生まれのお酒を知って、楽しんでいただきながら、たくさんの日本酒好きの皆さまとともに川崎市の 100 周年をお祝いしました。

開催日：2024/1/15 ～ 2025/3/31
会 場：川崎酒販協同組合 加盟店



■かこさとしの絵本の世界 「作品にみる川崎・科学・経済」

NPO 法人かわさき市民アカデミー

川崎の子どもたちとの出会いから花開き、創作初期を川崎で過ごしたかこさとし。市制 100 周年を記念して、生前のかこさとしさんを知る 3 人の講師による短期講座を開催し、川崎ゆかりのかこさとしさんの作品・人物への理解を深めていただきました。



開催日：2024/1/16 ～ 2024/2/13
会 場：新百合トウェンティワンビル



■明治安田生命 J リーグ ウォーキング in 等々力緑地

明治安田生命保険相互会社川崎支社

川崎フロンターレのオフィシャルパートナー、明治安田生命保険相互会社川崎支社が主催する健康ウォーキングイベント。フロンターレ OB の中西哲氏をゲストに迎え、無理なく、楽しく等々力緑地を一周するイベントの参加者には記念品のプレゼントもありました。



開催日：2024/1/28 会 場：等々力緑地

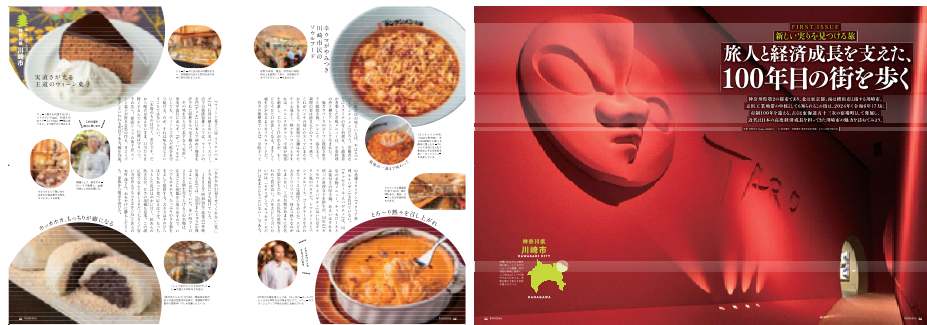
■ソラシドエアの機内誌「ソラタネ」2024年2月号で川崎市特集

株式会社ソラシドエア

株式会社ソラシドエアの機内誌「ソラタネ」の2024年2月号で、市制100周年を迎える川崎市を特集しました。「旅人と経済成長を支えた100年目の街を歩く」と題した特集記事では、古くは東海道五十三次の宿場町として発展し、近代は日本の高度経済成長を担ってきた川崎の歴史や文化、科学技術、アート、食などの多彩な川崎の魅力を10ページ以上にわたり、フルカラーで多くの写真を織り交ぜながら紹介しました。ソラシドエアを御利用になる方を中心に、多くの方々が川崎に行ってみたくなるような魅力あふれる記事で、機内誌を読んだ方から、川崎市長あてに「都内の別の場所に行く予定だったが、機内誌の記事を見て川崎市に行先を変更した」という趣旨の嬉しいお手紙をいただくなど、多くの方に「川崎を知って、関わって、好きになってもらう」ような特集となりました。「ソラタネ」2024年2月号は、羽田空港をも覗める「川崎役所展望ロビースカイデッキ」にも配架し、スカイデッキを訪れた方が興味深げに川崎市特集を読む光景も見られました。

開催日：2024/2/1～2024/2/29

会場：ソラシドエア航空機内



■市制100周年記念「ユニサイクルファンタジー」

川崎一輪車協会

「ユニサイクルファンタジー」は、音楽に合わせてジャンプやスピンなどの一輪車演技を披露するの合同発表会で、市内の一輪車クラブが参加しました。合同発表会に参加した川崎一輪車協会所属の川崎渡田一輪車クラブ、IEG一輪車クラブ、ユニサイクルのがわ、JUA中野島一輪車クラブ、柊形一輪車クラブ、麻生一輪車クラブの6チームは、各チームオリジナルの衣装で、音楽に合わせて華麗な演技を披露しました。また、市制100周年を記念した特別企画として、かわさきスペシャルサポーターであるsumikaの楽曲に合わせた6チーム合同の演技も披露し、会場を盛り上げました。

開催日：2024/2/4

会場：宮前市民館



■梅と歴史かおる、早春・川崎ハイキング

東日本旅客鉄道株式会社横浜支社

JR東日本が主催する参加費無料の駅からハイキング「梅と歴史かおる、早春・川崎ハイキング」は、市制100周年を記念して、川崎市を南北に貫くJR南武線沿線にある貨物線の廃線跡や多摩川用水の暗渠上に築かれた緑道を通り、梅の名所「御幸公園」を目指すコース設定としました。向河原駅を出発し、無量寺、平間の渡し跡、古市場村道標、旧南武鉄道貨物線軌道後などの史跡や、市ノ坪緑道、中丸子緑道、御幸公園、多摩川見晴らし公園などで季節の花を楽しみながら、南武線沿線を巡るコースで、市制100周年の節目に川崎の歴史をあらためて感じていただく企画となりました。

開催日：2024/2/17～

2024/3/3

会場：JR南武線
向河原駅～矢向駅



■アルテリッカ新ゆり美術展2024

アルテリッカ新ゆり美術展実行委員会

川崎・しんゆり芸術祭「アルテリッカしんゆり2024」のプレイベントとして、麻生区美術家協会と麻生区文化協会のコラボレーションにより、絵画・彫刻・工芸・書・写真・いけ花などの展示を行いました。

開催日：2024/3/4～2024/3/10

会場：新百合トウェンティワンビル



■こどもSDGsラボ

こどもSDGsラボ実行委員会、かわさきママのわ事務局

「環境を考える!!一緒に体験してみよう!」をテーマにしたSDGsを体感できるイベント。子どもたちにとっての第三の学びの場となるよう、ものづくりやアート体験などのたくさんのコンテンツを用意し、体験を通じてこどもの視野が広がる機会となりました。

開催日：2024/3/20

会場：武蔵小杉住宅展示場



■横浜DeNAベイスターズ出陣式2024

横浜DeNAベイスターズ

横浜DeNAベイスターズは球団の本拠地を神奈川県に移転してから70年目を記念し、市制100周年を迎える川崎市内の川崎ルフロ正面入口前で2024シーズンの出陣式を実施しました。三浦大輔監督のほか、キャプテンの牧秀悟選手、川崎市との縁が深い©YDB度会隆輝選手ら選手数名が登場し、川崎ブレイブサンダースキャプテンの篠山竜青選手とともに2024年シーズンにける意気込みを語りました。その後、川崎銀柳街を監督・選手がねり歩き、球団と川崎の歴史にも思いを馳せながら、チームとファンで思いを一つにしました。

開催日：2024/3/13

会場：JR川崎駅東口駅前広場（ルフロ前）



© YDB

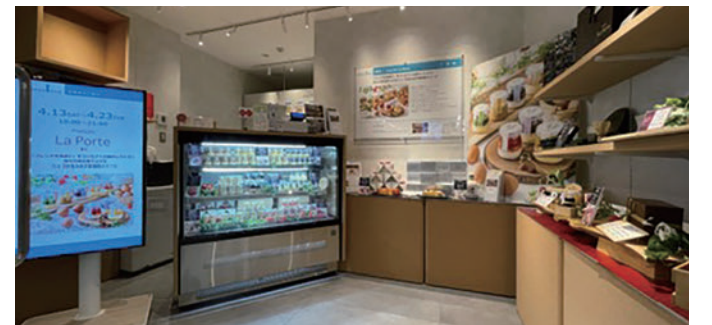
■東急武蔵小杉駅定期券うりば跡地が「Canvas Base」に

株式会社東急モルズデベロップメント

定期券うりばの跡地に設置した「Canvas Base(キャンパスベース)」は、事業拡大を目指す事業者を支援する新たなプラットフォームです。シンプルな内装で、販売活動に必要な備品や什器も揃っています。歩合賃料制での出店が可能で、店舗運営のアドバイスも行います。事業者を支援するために設置した「応援コミュニティ」は、川崎エリアにお住まいの方が中心となっています。市制100周年からはじまる取組として、これからも「Canvas Base(キャンパスベース)」では、事業者を応援していきます。

開催日：2024/3/29～2024/5/10

会場：東急電鉄武蔵小杉駅構内



■稲毛公園リニューアルに合わせた壁面アート制作

bonvoyage 株式会社

稲毛公園の再編整備と市制100周年を機に、区画全体の価値を向上させるよう稲毛公園に隣接するビルにミューラルアート(壁画)を制作しました。市民の憩いの場「稲毛公園」の背景となるミューラルアートは、周囲と調和を図られたものとなるよう計画。右下のラインは「川崎」の「川」の字をイメージし、市のブランドメッセージロゴマークにある「赤」「緑」「青」の3色を配色しました。また、背景に配置した7つの形状は、7区の形をかたどっています。この作品には、境界線のない未来に寄り添うような壁画になって欲しいという願いを込めました。

開催日：2024/3/29～2025/3/31

会場：稲毛公園



実行委員会参画団体による事業



■SDGs はぐくみじかん

かわさきママのわ事務局

「SDGs はぐくみじかん」は、「ららテラス 武蔵小杉」で行なわれた親子と子育てを応援する団体との“つながりをはぐくむ” イベント。親子で一緒に参加できるワークショップなどで、暮らしているだけでは中々出会えない素敵な子育て団体を紹介する機会となりました。

開催日：2024/4/1 ～ 2024/4/30
会 場：ららテラス 武蔵小杉



パートナー主催事業



■佐藤征一郎氏
（市民文化大使・声楽家）が
市制 100 周年記念 CD を寄付

佐藤征一郎

川崎市市民文化大使で声楽家の佐藤征一郎氏から、市制 100 周年を祝して制作した、江戸時代の大山街道を歌唱する「武陽玉川八景之図」全 8 曲が収録された CD の寄附をいただきました。CD は市内、次代の若者や幅広い市民に楽しんでもらうよう、市内小中学校や図書館などに配布しました。

開催日：2024/4/2



パートナー主催事業



■川崎ストリートピアノ
フェスティバル

川崎ストリートピアノフェスティバル実行委員会

市制 100 周年を記念して、「音楽のまち かわさき」の魅力を伝える日本最大級のストリートピアノの祭典を開催しました。イベント期間中は、多くの人々が気軽に商店街や商業施設など市内全 10 箇所に設置したストリートピアノを弾き、まちかで音楽を楽しみました。公式アカウントをフォローして「# 川崎ストピ」をシェアすると、商品券などの豪華プレゼントが当たる Instagram 投稿キャンペーンや会場ごとのスペシャルステージも企画。スペシャルステージでは、元 AKB48 松井咲子さんなど、たくさんのゲストが会場を盛り上げました。

開催日：2024/4/1 ～ 2024/5/12
会 場：市内商店街・商業施設等



川崎市主催事業



■川崎・しんゆり芸術祭
（アルテリッカしんゆり）

市民文化局、川崎・しんゆり芸術祭実行委員会

市民主体の芸術活動が根づく川崎北部で行なわれる芸術イベント「川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）」。市制 100 周年の川崎・しんゆり芸術祭では、「緑」がテーマの公演や緑地でのオープンエアコンサートなど、全国都市緑化かわさきフェアのコンセプトに合う企画を展開しました。

開催日：2024/4/7 ～ 5/12 会 場：市内各所



パートナー主催事業



■「川崎の町名」改訂版を発行

日本地名研究所、川崎市

「川崎の町名」は発行から 30 年以上経過し、その後の調査・研究を進めてきた地域の歴史や、新たな町名由来等を反映するため、市制 100 周年の節目に、改訂版を発行しました。また、日本地名研究所と連携し、改訂版を活用した「地名講座」なども開催しました。

開催日：2024/4/5 ～ 2025/3/31



パートナー主催事業



■「川崎工場夜景」スポット
バスツアー

株式会社はとバス

多数の工場が密集する川崎臨海部には、夜を迎えると様々なプラントに作業用の明かりが灯ります。この幻想的な世界が広がる「工場夜景」を巡るバスツアーは、川崎工場夜景ナビゲーターによる解説付きで夜景のプロが厳選した場所はもちろん、このツアーだけが特別に観賞できるスポットにも御案内しました。羽田空港の対岸に位置する「川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル」での食事も堪能。川崎臨海部の魅力満載のツアーとなりました。

開催日：2024/4/6 ～ 2024/9/28 会 場：川崎臨海部



（一社）川崎市観光協会提供

実行委員会参画団体による事業



■ネクサスチャレンジパーク早野
「2 周年感謝祭」

東急株式会社ネクサスチャレンジパーク早野

ネクサスチャレンジパーク早野の開業 2 周年と市制 100 周年を記念した感謝イベントを開催しました。地域の子どもから大人までが参加して楽しめる様々なワークショップを実施したほか、お祝いの青空ミニコンサートでは、近隣の虹ヶ丘小学校 3 年生のみんなが元気な歌声を届けてくれました。地域の住民の方と一緒に盛り上げ、賑わいと交流の機会を創出したイベントには、幅広い年齢層の方々に御来場いただきました。これからも地域の住民や様々な企業、学校とつながりながら、「Walkable Neighborhood(歩きたくなるまち)」の実現に向けて、ネクサスチャレンジパーク早野の取組は進んでいきます。

開催日：2024/4/12、4/13

会 場：ネクサスチャレンジパーク早野



実行委員会参画団体による事業



■エコシティかわさきフェス
2024

かわさき生活クラブ生活協同組合

暮らしの中の環境問題を知って、考えることができるイベント「エコシティかわさきフェス 2024」。溝の口にある「eM/PARK」での開催が 3 年目となる 2024 年は、緑化フェアと親和性が高い川崎発の緑化アートプロジェクト「ZÖEN2024」と同時開催しました。みどり・アートをテーマとして、川崎の環境を次世代につないでいくための様々なワークショップブースを出展し、都市緑化、脱炭素、再エネ、地域内資源循環などの視点からの川崎市での暮らし方について、心地良い緑に囲まれながら参加者みんなと一緒に学びました。

開催日：2024/4/13、4/14 会 場：eM/PARK(持田駐車場 3F)



実行委員会参画団体による事業



■かわさきグルメ名店と
ホテルシェフのコラボbuffe

川崎日航ホテル

川崎日航ホテル開業 60 周年の記念企画として、地元の洋食や中華などの名店 6 店舗とタッグを組んだ「かわさきグルメ名店とホテルシェフのコラボbuffe」をホテル 10 階のカフェレストラン「ナトゥーラ」で開催しました。コラボbuffeでは、6 店舗から提供されたレシピをもとに、ホテルシェフが再現した昔ながらの味わいや名店の生產品を活用したホテルオリジナルメニューを提供しました。（協力店舗：イタリア料理「モナリザン」・中華料理「成喜」・キムチ「おつけもの慶」・中華麺「大橋製麺所」・豆腐店「埼玉屋」・菓寮「東照」）

開催日：2024/4/15 ～ 2024/6/30

会 場：川崎日航ホテル



実行委員会参画団体による事業



■城南信用金庫の市内 6 店舗で使用
する車両で市制 100 周年を PR

城南信用金庫

地域に密着した金融機関として、地域の方の悩みごとの解決や夢を叶えるお手伝いに全職員が日々尽力している城南信用金庫では、川崎市の市制 100 周年を盛り上げるために、市内の 6 店舗で使用している自転車やバイクなどの車輛に「市制 100 年のステッカー」を貼り、市制 100 周年記念事業を応援し、市制 100 周年の機運を高めました。地域の事業者の発展や豊かで潤いある暮らしづくり、活気にあふれた明るいまちづくりを目指した城南信用金庫の取組は、市制 100 周年の後も続いていきます。

開催日：2024/4/16 ～ 2025/3/31

会 場：城南信用金庫 市内各店舗



■川崎発の緑化アートプロジェクト「ZŌEN2024」

まちの植育プロジェクト、久栄商店会

「ZŌEN2024」は、造園家や庭師、植木屋、ガーデナーのアーティストを中心に、まちなか再生やクリエイティブなことに情熱を注ぐ仲間が集まったチームが開催したイベントです。イベントでは造園作家と多彩なアーティストによる作品展示、都市緑化などをテーマとした気鋭のパネリストによるトークセッション、植物の魔術師ピート・アウドルフ作の映画の野外上映やプロジェクトマップ、グリーンや環境をテーマとしたワークショップ・物販などを行いました。"溝の口"の魅力を緑化アートによってさらに向上させるとともに、「緑つくり」×「緑つくり」×「街つくり」をテーマに、「花や木鉢を置きたい、大切な人に贈りたい、木を植えて四季と共に生活したい」など、人間が本能的に持っている植物との親しい関係を育むためのしくみづくりがこれからも進んでいきます。

開催日：2024/4/13～2024/4/21

会場：eM/PAPK 屋上 キラリデッキ



■新聞折込 PR 誌「元気宣言 114号」で100周年をPR

株式会社大山組

株式会社大山組が季刊発行しているまちづくり応援マガジン「元気宣言 114号」に、15のActionテーマなどの市制100周年事業のコンセプトや、2024年6月29日（土）に開催された「かわさき飛躍祭」を紹介する記事を掲載しました。中原区に配達される新聞各紙朝刊などに折り込まれた「元気宣言 114号」が、多くの市民に市制100周年記念事業の情報を届けました。

開催日：2024/4/24

会場：新聞各誌朝刊



■NAMBU LINE CRAFT BEER BINGO

東日本旅客鉄道株式会社横浜支社

南武線でクラフトビールの店舗を巡りながらお気に入りの一杯を探す「NAMBU LINE CRAFT BEER BINGO」。参加者は、沿線に点在するクラフトビールの醸造所や提供店計7店舗を巡ってビールやBINGOのスタンプラリーを楽しみながら、ビールの旨さと南武線沿線の魅力を再発見しました。BINGOはタテ3マス×ヨコ3マスの全9マス、1列または3列達成した参加者には、南武線のアクリルキーホルダーやクラフトビール割引券を先着でプレゼントしたほか、全9マス達成者にはオリジナルグッズを抽選でプレゼントしました。

開催日：2024/4/27～2024/6/30

会場：南武線沿線の店舗



■北野書店が市制100周年記念コーナーを設置

株式会社北野書店

北野書店本店では、川崎市が舞台となる本や、川崎の地勢や100年の歴史に関する本など、川崎市に関連する本をたくさん集めた市制100周年を記念する特設コーナーを設置しました。川崎市ゆかりの作家として、幸区の東古市場に住んでいた「からすのパンやさん」「だるまちゃん」シリーズなどで有名な絵本作家「かこさとし」さんの本、光触媒を発見した川崎市名誉市民「藤嶋昭」さんの本などを揃えた特設コーナーでは、手に取って本をご覧いただく多くの方の姿が見られ、本を通じて川崎を知っていただく機会となりました。

開催日：2024/4/17～2024/7/1

会場：北野書店本店



■みどり学特別講座「身近なみどりの魅力発見」

NPO 法人かわさき市民アカデミー

市制100周年の象徴的事業「全国都市緑化かわさきフェア」の開催を前に、川崎市の代表的な緑地公園を散策する特別講座を開催しました。樹木医、森林インストラクターなど、みどり学の人気講師の案内により、観察の楽しさや身近なみどりの魅力を発見する機会となりました。

開催日：2024/4/20～2024/5/18

会場：東高根森林公園、生田緑地ほか



■コラボデザインの横断幕で市制100周年を応援

一般社団法人川崎市電設工業会

市制100周年ロゴマークと川崎市電設工業会のロゴマークをコラボデザインして制作した横断幕を電設工業会がある電公ビル壁面に掲示したほか、コラボデザインのクリアファイル、封筒、シール、ポスターなども作成・配布し、市制100周年を応援しました。

開催日：2024/4/24～2025/3/31

会場：川崎市電設工業会 電公ビル



■ヤクルトレディの自転車・バイクで市制100周年をPR

神奈川東部ヤクルト販売株式会社

市内で活動しているヤクルトレディ約250名が「市制100周年記念ステッカー」を貼った自転車やバイクで、ヤクルトを毎日配達しました。神奈川東部ヤクルト販売株式会社は、川崎市地域包括ケアシステムの「安心見守りネットワーク協力事業者」として、配達などの日常業務の中で、住民の異変に気づいた場合に区役所へ連絡するなどの地域活動や社会貢献活動に取り組んでいます。また、より良い社会、未来のため、そして持続可能な社会の実現に向けて、「かわさきSDGsゴールドパートナー」としてSDGsの達成に貢献する取組を進めています。

開催日：2024/4/25～2025/3/31

会場：市内各所



■福祉応援！王禅寺フリーマーケット

「福祉応援！王禅寺フリーマーケット」実行委員会

新百合ヶ丘駅ペDESTリアンデッキの歩行者通路で「福祉応援！王禅寺フリーマーケット」を開催しました。フリーマーケットの出店料を福祉施設へ寄付するという、川崎市麻生区役所が後援する公益事業として、「福祉×フリマ×音楽」をミックスしたイベントを春と秋に開催しました。

開催日：2024/4/28、10/20

会場：新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキ



■川崎フロンターレ×Essen「市制100周年機運醸成企画」

株式会社 Essen

川崎フロンターレとEssenのコラボレーションによる、フロサボの自家用車に大型ステッカーを貼ってもらい、市制100周年をPRする企画。ステッカーには川崎フロンターレ選手の画像と100周年を祝う言葉が掲載されました。

開催日：2024/5/1～2024/9/30 会場：市内全域

